

MR e-TEST

**マイページがあるe-TESTで
モチベーションアップ**

**登録した弱点問題を克服して
MR認定試験まで一気に駆け抜ける！**



場所を選ばない効率的な学習

※各社Smart Phoneに対応
(iPad / iPhoneにも対応)



**成績一括管理
メール一括送信機能搭載**

概要

項目	内容																
●タイトル	MR e-TEST																
●運営	学校法人医学アカデミー 薬ゼミータルラーニング事業部																
●価格	※基本料金+科目料金となります。(下記は税別価格です。)																
	<table border="1"> <tr> <td>◆基本料金</td> <td>¥8,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・疾病と治療</td> <td>¥1,000</td> <td>・医薬概論</td> <td>¥1,000</td> </tr> <tr> <td>・薬理学</td> <td>¥500</td> <td>・PMS</td> <td>¥500</td> </tr> <tr> <td>・薬剤学</td> <td>¥500</td> <td>・添付文書</td> <td>¥500</td> </tr> </table>	◆基本料金	¥8,000			・疾病と治療	¥1,000	・医薬概論	¥1,000	・薬理学	¥500	・PMS	¥500	・薬剤学	¥500	・添付文書	¥500
◆基本料金	¥8,000																
・疾病と治療	¥1,000	・医薬概論	¥1,000														
・薬理学	¥500	・PMS	¥500														
・薬剤学	¥500	・添付文書	¥500														
●利用期間	<ul style="list-style-type: none"> ・試験運用：2011年5月9日(月)～5月20日(金) ・運用期間：2011年5月21日(土)～2011年度MR認定試験の日まで (※試験運用期間よりご利用いただけます。) 																
●問題数	合計：約3500問 ・テキストⅠ：約1000問 ・テキストⅡ：約1000問 ・テキストⅢ：約1500問																

※本e-TESTの仕様につきましては、一部変更される場合があります。予めご了承ください。



第1回

- 問1** サリドマイド事件以前の毒性に対する認識は、一般毒性および催奇形性に対するものであった。
1 正 2 誤
 1
 2
- 問2** わが国でサリドマイド被害が拡大した要因は、外国よりも販売中止・製品回収が遅れたためであった。
1 正 2 誤
 1
 2
- 問3** サリドマイドによる奇形は、新薬開発段階における毒性試験のあり方およびPMSの重要性を認識させるものであった。
1 正 2 誤
 1
 2
- 問4** 過去に発生した副作用被害と関連する医薬品について正しいのはどれか。
a 血液障害 - ソリブジンと抗がん剤の相互作用
b アナフィラキシーショック - キノホルム
c 肝炎 - 血液製剤
d クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)
- ヒト乾燥硬膜
a b c d
1 正 正 誤 正
2 正 誤 正 誤
3 正 誤 正 正
4 誤 正 誤 誤
5 誤 誤 正 正
 1
 2

解答・解説画面

- ・チェック1つで『弱点補強問題集』への登録ができます。
- ・問題ごとに丁寧な解説を見る事ができます。

問題回答画面

- ・各テストに回答して送信します。
⇒問題毎に回答を送信する必要がないので、通信環境が悪い時も、1度の送信で解答チェックができます。
- ・問題は開く度に順不同で出題されます。

第1回

日時	2011年03月22日
結果	合格
点数	80点

回答終了しました。

☆弱点補強問題集とは・・・
 間違えたテスト問題等を登録することで、自分の弱点を集中的に特訓できる『オリジナル問題集』です。
 ※不正解の問題口は既にチェックが入った状態になっています。正解の問題でも、弱点補強問題集へ登録したい問題があればチェックを入れてください。

問1 サリドマイド事件以前の毒性に対する認識は、一般毒性および催奇形性に対するものであった。
1 正 2 誤
 1
 2
【解説】 サリドマイド事件以前の毒性に対する認識は、一般毒性に対するもので催奇形性に関する認識はなかった。

問2 抗菌薬ペニシリン製剤による副作用被害は、血液障害による死亡例であった。
1 正 2 誤
 1
 2
【解説】 抗菌薬ペニシリン製剤による副作用被害は、アナフィラキシーショックによる死亡例であった。その後、使用前の服の問診の義務づけや皮内反応検査の実施が指導された。なお、皮内反応試験は、「有用性を示すエビデンス」に乏しと指摘され、平成16年9月にその実施は原則廃止された。

問3 サリドマイド副作用被害を契機に、新医薬品の承認申請資料として各種毒性試験成績の提出が求められている。
1 正 2 誤
 1
 2
【解説】 サリドマイドの危険性は、当時予想されなかった。従って新薬開発段階で危険性が予測されることはなく、製造販売

※本e-TESTの仕様につきましては、一部変更される場合があります。予めご了承ください。

【お問い合わせ先】



学校法人 医学アカデミー

薬ゼミータルラーニング事業部

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-5 ニ引ビル3F

TEL : 03-5298-4610

FAX : 03-5298-4611

mail : ytlinfo@ytl.jp